

福岡から世界に通じる イノベーション

》リックス協創センター》始動

**福岡県工業技術センター**
FUKUOKA INDUSTRIAL TECHNOLOGY CENTER

所長
吉海 和正氏(左)

代表取締役社長執行役員
安井 卓(右)



リックスは2024年11月、研究開発拠点「リックス協創センター」を福岡県粕屋町に開設した。オープンイノベーションによる社会課題の解決を通じて、主力の産業機械や装置部品などの分野で、収益の柱となる新製品・事業を生み出す施設だ。これからの地域とオープンイノベーションのあり方について、リックスの安井卓社長が、共同開発の実績もある福岡県工業技術センターの吉海和正所長を協創センターに招き、語り合った。(司会「日刊工業新聞社西部支社長 武田則秋」)

研究開発を加速 オープンイノベーションの 拠点に

「リックス協創センター」を、ご覧になってどう感じましたか。

吉海 素晴らしい施設です。コンセプトは耳にしていたが、聞いた以上に立派で、設備が素晴らしいです。共有スペースやカフェテリアもあり、自由闊達な研究開発ができると思います。

安井 ありがとうございます。計測機器や試験装置、ドライルーム、クラス1000のクリーンルームといった設備のほか、リックスでできる研究室も集中できる空間、研究パートナー向けの部屋も用意しました。入居する当社NB(ニュー・ビ

ジネ)の開発本部が議論を重ねて決めたものです。私はあえて口出しせず「新しいことをやってみよう」との意識を持ってもらう狙いもありました。

「なぜオープンイノベーションに、既存製品で安定的な収益を上げつつ、新製品の探索的開発を積極化することに足を踏み出しました。21年にNB開発本部を発足し、今回さらに研究開発を加速させます。」

「なぜオープンイノベーションを求めたのでしょうか。」

安井 大手メーカーは、はじめ顧客の課題が多様化しているからです。これまで福岡県工業技術センターと自動車関連メーカーとの共同開発、また仕入れ品の拡大による顧客の課題解決の実績はありました。『餅は餅屋』のように仕入れ先や顧客の固有の強みを生かしつつ、当社の技術と融合することで顧客の課題、ひいては社会課題を解決したいと考えています。

「協創センターの位置づけを教えてください。」

安井 オープンイノベーションを実現する場所です。社内の技術を転用し、新たな業種・顧客に応える製品を生み出すことを使命とします。

「当社は産業機械や機械部品の商社とメーカーの機能を併せ持つ『メーカー商社』を名乗っています。自社製品としてロータリージョイントと洗浄機械という強い基盤があります。ただ、自社製品のラインナップは、私が入社した十数年前から変わらない状況です。2019年に社長に就き、次代に向けた新たな柱と、それを生み出す研究開発施設が必要だと思い至りました。そこで書籍『両利きの経営』をヒ

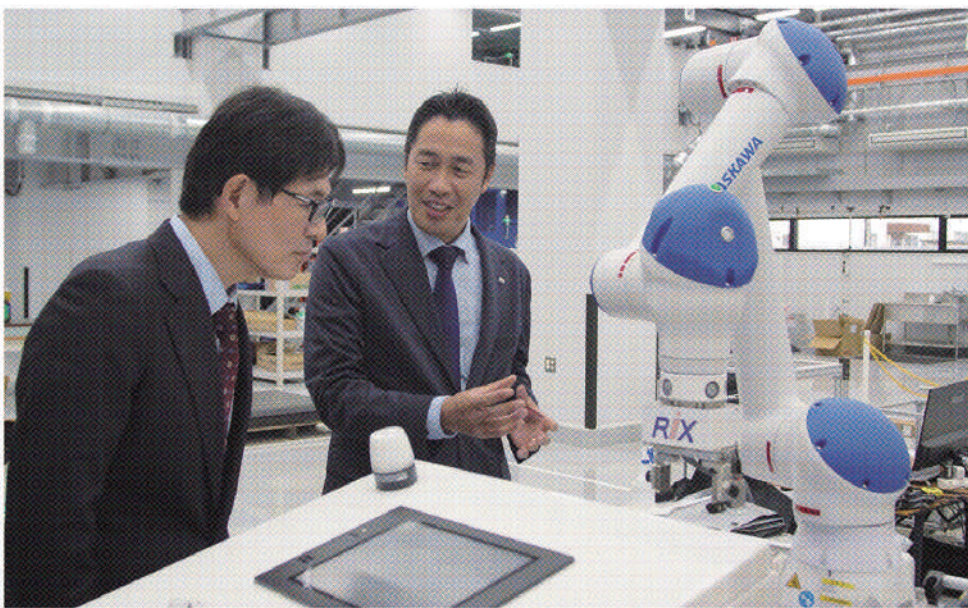
「民間によるこうした施設について、どのように感じますか。」

吉海 リックスは地域でモノづくりを取り組む企業です。開発力のある企業がオープンイノベーションの核になる施設を設けることは、福岡県のモノづくりの層が厚く、質も高いことの表れです。工業技術センターが掲げる理想は、地域企業が研究開発し新技術で発展することです。リックス協創センターは地域の研究開発を盛り上げ、モノづくり全般に寄与する施設です。企業の意識喚起につながることも期待します。

「オープンイノベーションの重要性は高まっています。」

吉海 例えば中小企業の研究開発にオープンイノベーションは必須です。足りない技術を補完することで時間を買えます。知り得なかった技術も使えるようになるでしょう。

「とはいえ簡単ではありません。」



「オープンイノベーションの重要性は高まっています。」

「オープンイノベーションの重要性は高まっています。」

「オープンイノベーションの重要性は高まっています。」

「オープンイノベーションの重要性は高まっています。」

「オープンイノベーションの重要性は高まっています。」

「オープンイノベーションの重要性は高まっています。」



半導体、車載電池などに焦点 独自技術と拠点網を最大活用

「民間によるこうした施設について、どのように感じますか。」

「民間によるこうした施設について、どのように感じますか。」

「民間によるこうした施設について、どのように感じますか。」

「民間によるこうした施設について、どのように感じますか。」

「民間によるこうした施設について、どのように感じますか。」

「民間によるこうした施設について、どのように感じますか。」

挑戦する社風を築く

「公設試験機関や大学との連携は。」

安井 福岡県工業技術センターとは、ラバルノズルを活用した湿式微粒化装置「G-スマッシュ」を共同開発しました。多くのテストやデータ取りを支えてもらい、当社だけでは完遂できなかったでしょう。製品の引き合いも活発化してきました。

「大手でなければ難しい基礎研究を公設試験機関や大学に担ってもらい、企業が応用開発するという役割分担が重要です。大学との連携も進めており、アカデミックな知見や信頼性の高いデータの裏付けの部分で企業にメリットは大きいです。」

吉海 企業の研究開発では確実性が求められます。当センターは企業よりも幅広い技術研究をやった上で、狙い目を出すことができます。大学は地域貢献として中小企業などの支援に乗り出しています。大学が基本的で高度な知見を生み出し、当センターが咀嚼して地域に橋渡しすることもできます。

「社内での体制づくりでポイントがありますか。」

安井 研究開発には時間がかかりますが、短期

「社内での体制づくりでポイントがありますか。」

「社内での体制づくりでポイントがありますか。」

「社内での体制づくりでポイントがありますか。」

「社内での体制づくりでポイントがありますか。」

「社内での体制づくりでポイントがありますか。」

「社内での体制づくりでポイントがありますか。」

「社内での体制づくりでポイントがありますか。」

「社内での体制づくりでポイントがありますか。」

「社内での体制づくりでポイントがありますか。」

「社内での体制づくりでポイントがありますか。」

「社内での体制づくりでポイントがありますか。」

「社内での体制づくりでポイントがありますか。」

「社内での体制づくりでポイントがありますか。」

世界中のものづくりの課題解決屋になる

RIX リックス株式会社

■ 本社：福岡市博多区山王1-15-15
電話：092-472-7311(代表)
■ 協創センター：福岡県糟屋郡粕屋町仲原1847-1
東証プライム市場 上場(証券コード7525)

